

H29 年度

PTA 役員研修会

報 告 書

日 時 平成 29 年 6 月 24 (土)

午後 2 時～4 時

会 場 東京学館新潟高等学校

新潟市小中学校 PTA 連合会



## 正副会長部会（小学校 A グループ）

司会：羽ヶ崎 章（松浜小学校）

記録：若 槻 麻 美（東山の下小学校）

参加人数：12名

テーマ：①PTAの活性化のための工夫 ②スマホ(メディア)との関わり方

<A 小学校> ①児童1人につき、1回PTA(ポイント制)4ポイント達成で、ほかの子ども役員免除。企画運営部、5つの専門部。②アウトメディア → 1週間ゲームをしない。学校からカードを配る。

<B 小学校> ①各部の活動内容(資料参照しながら紹介)。役員以外にお手伝いをやってもらう。役員選考は推薦。②学校からのお便り。

<C 小学校> ①学校の改修のためのお手伝い。ふれあいスクール部を開設予定(今年はふれあい事業なし、コーディネーター不在)。必ず一人1回は役員に就く。②学校でのメディアへの取り組みはなし。その他…茶話会で情報交換。

<D 小学校> ①生徒数95人、家庭数が少ない為かPTA活動には、協力的で活性化している。田んぼがたくさんあるので、見守り活動が盛ん。5年生のお父さんで抽選会を行い、6年生で会長。②キラメキ週間 → ノーメディア2時間、勉強、睡眠をカードに記入して親が押印。その他…あけぼの(広報紙 → 1年時と6年時の写真を載せて、成長を見るのが好評)、学校で逃走中のイベント。

<E 小学校> ①参観後に親子レクリエーション、全校で弥彦山登山。通学路が危ない → 子ども見守り隊。役員 → 地域から選出していたが、学年ごとの選出に変更(推薦で行う)。②ノーメディアウィーク → 親が記入し学校へ。

<F 小学校> ①総務、任期2年(延長可) → 全校に役員推薦用紙 → その中から会長、副会長選出。クラスから4名×2クラス8名で学年委員、その他の人から専門委員、ならなかった人は1dayボランティアに必ず参加(家庭数)。②テレビ、ゲームの時間を決めて、◎・○・×で記入して親がチェックを行う。5、6年生にメディア研修。その他…ふれあい事業 → ほっとハウス笹口(今年で15年) 9:00~16:30(コーディネーターさんが当番)。

<G 小学校> ①地域から2名選考委員に選出 → 役員選考し、推薦で依頼(三役)。一般部については、三役で選考し、赤い手紙で依頼。②ノーメディアについての取り組みはなし。その他…教養部で、学校を会場に漢字検定を受験できる。40周年事業検討中。

<H 小学校> ①PTA4役選考 → 1本釣り(やっている人が声を掛ける)。親父の会 → 交流して、PTA参加率がUP。飲み会を通して、PTA参加率UP。地域との関わりが強い。②元気UP週間、チェックシートでメディアを減らす運動。その他…上山祭りが大イベント。タイムカプセル(学校行事6年生)。

- < I 小学校 > ①児童 1 人につき 1 回行う → 定着しているので、ほぼ立候補で決まる。決まらない時は、やっていない人でクジ。会長、副会長、事務局は 2 年やると、2 人目以降免除。②メディア → 藤見中のテストに合わせて、手紙。チェックシートは年 1 回。5、6 年は講習会。
- < J 小学校 > ①役員選出：立候補 → 推薦。専門部：各クラスから 4 名(くじ引き)。②メディア → 学校主体でチェックシート。
- < K 小学校 > ①役員 → 目立っている人に電話。幹事がパソコン作業等。総務の資料作り 2 名、ふれあい祭り 5 名 → 募集している。昼間活動が大変なので、夜に活動する部も考えている。②学校で実施、年 2 回チェックシート。お笑いの人に来て、メディアの危険を実演。その他…学校で孤立したりする親がいなくなるように、茶話会等計画。人間関係作りのため。

## 正副会長部会（小学校Bグループ）

司会：南 雲 保 子（白山小学校）

記録：井 上 基 之（白山小学校）

参加人数：12名

---

### <各校の取り組み>

A小学校：85周年、空撮をドローン(天候に左右されない)。新潟まつりなど伝統行事で地域と連携。事務局が会長、副会長をサポート。

B小学校：上山まつり、コミ教と協力(ブース出展)普段気分(気軽な交流)、焼き芋大会、学年行事のマンネリ化が課題。

C小学校：ふれあいスクールを熱心にやっていた方→退任→新たな企画を検討中。ふれあい部会を検討中。いじめ虐待防止研修(CAP)。

D小学校：事務局が会長、副会長をサポート。母同士のつながりは多い。父同士のつながり→ソフトバレー大会(参加者のマンネリ化、行き詰まり感)。気軽に参加できるスポーツレクを検討中。PTA 全体行事で NAMARA のお笑いとキャリア教育→今年度は水産研究所(海と親しむ)。

E小学校：32年度を目途に分校予定。大規模校なので、PTA 役員だけで150名程度、会長1名、副会長5名。坂井輪まち協行事に参加。こども部、育成協が一生懸命。

F小学校：じゅんさい池など自然がある環境。工場(北越製紙)の夜景を見るイベントなど。全員1回は役員になるような仕組み。東山の下フェスティバル→避難所に公園の周知。屋台、魚のつかみ取りなど。

G小学校：広報年4回発行…他は2回が多い。多すぎる？ 児童数620名。コミ協主催の運動会に参加。文化祭で食品販売→購入品へ変更。児童の作品鑑賞を主にした。もちつき→インフル、ノロウイルスのリスク→文化を大切にするため維持。

H小学校：50周年、広報誌特別号を企画。運動会→場所取りマナーの改善。校舎建替予定。地域とは昔遊び等で交流。PTA 役員はポイント制を導入。

I小学校：PTAの役と保護者数 → 1人の児童につき2回役員をやる。創夢(PTA 役員/事務局)任期2年。ほっとハウス(コミ協、ふれあいスクール)と協力して行事運営。蒲原まつりの見守りなど、1Day ボランティア。

J小学校：もちつき大会で地域と協力→児童数220名程度。親子の交流ができる内容の学年行事。プール開放(夏休み)PTA が監視役。これまで役員は個別交渉だったが、各学年から三役も選出。コミ教、育成協の活動も盛ん。

K小学校：PTA3役や総務でふれあいスクールの運営主任。PTA 役員の選出(部会代表や3役など)がなかなか進まない。選考委員を設けて選出しているが、システムを再考中(選考委員がみんなを知っているわけではない)。年に1回の“お手伝い制度”で多くの保護

者を巻き込む工夫。文化祭の食品販売をやめ、弁当を検討中。福祉作業所のパンなどを販売予定(配布形式にしたことで、児童の不公平感もあり)。

#### <意見交換>

- ほっとハウス笹口の設備は羨ましい。  
コミ協が主体? → 校区の方ならどなたでも利用可。
- ボランティアの確保について  
高齢化が課題。
- 学校内にコミ協の拠点があることは大きい。
- 地域との交流の輪が広がりにくい(特定の人だけのつながりになりがち)。
- 夏のプール開放について  
太夫浜小はPTAでローテーション。救急法の講習。
- PTAのポイント制(牡丹山小)の小中連携は? → 牡丹山ではしていない。  
1小1中のところならできるのでは? → 坂井輪で検討したが、中学の三役から「なり手がなくなる」と反対の声があがった。

## 正副会長部会（小学校 C グループ）

司会：岩 田 尚 志（南万代小学校）

記録：大 石 康 高（紫竹山小学校）

参加人数：12 名

A小学校：4 月から 15 以上の会議。地域とのつながりが強い。

B小学校：バザー、どんぐりランド、東山の下フェスティバル、魚のつかみ取り(焼いて食べる)。

C小学校：野菜販売等。ボランティアスタッフ。

D小学校：山の手の方にあり、地域との関係が密接で顔が見える。クマが出るかも。お父さんの参加率を上げたい。

E小学校：プール授業。ボランティア 4 名、学校内をウロウロしている。夏休み宿題片付け隊(学校に集まる)。

F小学校：155 名、6 年間 1 クラス。縦割りで班ですごく仲が良い。歓送迎会、町内会長も来る。NAMARA ステージ。

G小学校：市内で一番児童数が多くなる。PTA が積極的でない。選出が問題 → 保護者のアンケートでは PTA が何をしているかわからない。110 周年。

H小学校：不審者が多発 → 横のつながりが薄くなった。コミ協(ふれあい)。田植え。20 年ぶりの男性役員(会長)。パパ会。ライン会議。動画作成。

I小学校：プール開放(ライフセーバー)を入れた。もちつき大会(ノロ、インフル流行により、ついた餅は食べさせない)。GTO(ギガ ティーチャー オヤジの会)11 年目、飲み会がメイン。ボランティアで PTA 行事。情報の共有化 → P と T。

J小学校：引き継いだものを業務的に。ふれあい(地域のご年配の方)。雑に情報発信。

食べ物 → 衛生面問題ないか？

検便、食品衛生 → 情報提供。全部の同意(学校、地域、保護者)。イベント保険。

目的とリスク：プール開放 → 保護者が監視する → 仕事休む。

### <テーマ>

- PTA のなり手 / JC と連携 / PTA で HP (SNS → 個人情報の問題) / パパ会
- 任期制 (3 年) / 地域との関係 / ママ友
- 引継ぎ書類。
- 会費等 → PTA、市 P 連、金額、負担 OR 半額、教頭次第。

## 正副会長部会（小学校Dグループ）

司会：齋 藤 嘉 浩（亀田西小学校）

記録：加 藤 高 明（有明台小学校）

参加人数：12名

---

○参加者の自己紹介

○各小学校のPTA 取り組みをそれぞれ紹介

○意見交換

- 役員の決め方(クラスから何人？OR 学年から何人？)。
- 役員の選考時期。
- 新役員がいつから活動するか。
- 会長の任期。
- 三役の人数。
- 副会長の役割(環境などの部門ごとの担当)。
- PTA を辞めたい人への対応。

## 正副会長部会（小学校 E グループ）

司会：姉 崎 浩 二（阿賀小学校）

記録：小 柳 美奈子（鎧郷小学校）

参加人数：12 名

---

- 各学校代表の自己紹介の後、各学校の特色ある PTA 活動の紹介。
- 生徒数が少ない為、PTA 役員の選出が大変という意見があり、役員の任期についての話があがり、任期の有・無では、副会長 → 2 年希望しても最大 3 年、2 年任期の所が多かった。（例：会長になる為に副会長を選出するなどの意見が出た。）
- A 小学校 6 年 スマホ安全教室について
  - ・ 2 年前に講師を担当した方が出席しており、中学校に上がる最後の学年に、しっかり使い方を教える為に始めたということだった。
- 役員の中の、男性の参加率について、女性の役員が多い中、秋葉区の阿賀地域の男性の参加率が高いという意見があった。
- 沼垂小学校、飯田小学校のキャンプ活動の話、スキー教室についてなど。
- 各学校の PTA の役員決めについて。



## 正副会長部会（小学校 F グループ）

司会：和 氣 彰（金津小学校）  
記録：永 田 向太郎（巻北小学校）  
参加人数：11 名

・自己紹介

・各学校の紹介

A小学校：ほぼA中学校へ(9年変わらず)。地域主催、東山の下フェスティバル、フェス会場、津波時防災避難場所。ひまわり(学童保育)学内2、学外1、他1施設。

B小学校：1学年3クラス。役員回数は、子ども1人につき1回だったが、複数回になりつつある。ハッピーランド、月2回。

C小学校：児童数426名、家庭数360位。育成会(PTA)。全員参加の専門部にも所属。はまなす祭り、子どもたちのための会、手芸、もの作り、ゲーム等。

D小学校：児童数216名、学年ほぼ1クラス。役員学年6人(6年間で1回は回る)。専門部、部長(6年)、副(5年)。わくわくフッチーランド開催。学校内で遊ぶ、球技やボードゲーム等(毎回4人程ボランティア)。8月下旬、芝生の上の上映会(グラウンドで映画の上映、ふるまい、とん汁)。コミ協主催でPTAは手伝い。運動会前にPTAで芝生を整備。

E小学校：児童数393名。校区内にビッグスワン、エコスタ、アップルスポーツカレッジ。ふるあいスクール(年に1、2回当番ボランティア)。水、土、P5名、地域3名。いじめ虐待防止研修(文教部)。ふるあいフェスタ → ふるあいコンサート化(?)。ソフトバレー大会(50~60名教職員含む)。

F小学校：児童数300名弱、家庭数240、役員13名、転勤族の方が多い。ほっとハウス、コーディネータ登録制(40名程度)。

G小学校：児童数735名(5年後900名超予想)。6棟プレハブを増設。ひまわり3棟増加予定。4役員10名。ふるあいスクール90回、1人2回位当番。上山まつり(コミ協と)体育館などでお祭り、午後~夜まで。

H小学校：複式クラス有、計468名。バスのマナーについて(苦情が多いため)。4役、正1・副3・事2・監査3。図書館ボランティア、クリーンボランティア、花植え、除草、掃除 → おやじの会。運動会空撮 → YouTubeへ。学年行事、クラス行事、学区が無い。

I小学校：児童数177名。役員6人×6学年で36名。専門部、広報、教文。5、6年で三役。クジ引きで決めることが多い。学年行事、1年親子レク、給食。

J小学校：児童数746名、28学級(特別含)。アートフェスタ後、五十嵐ふるあい祭り。おやじの会、校長等もメンバー、夏と冬に会合。

## 正副会長部会（中学校Aグループ）

司会：山 田 久美子（山の下中学校）

記録：佐 藤 茂 充（大形中学校）

参加人数：9名

---

### ☆ 自己紹介

### ☆ 情報交換

A中学校：夕方、PTAパトロールを行っているが、効果あり。地区ソフトボール、4連覇中。

B中学校：ランチ試食会、リバーサイドウォーク、内野まつりに参加、合唱コンクール。

C中学校：地域との交流が持ちにくい。学校内の活動が中心である。附属小学校との活動有。活動が生徒主体である。保護者の関わりが割と少ない。

D中学校：3地区(旧白根、加茂、三条)が合併した。地域間の連携強化。「白根南圏」の創造。年数回の行事。10周年、パネルディスカッション、南部地域発展の活動視点。

E中学校：地域協議会等への積極参加。地域フェスティバルへの協力。3世代交流大運動会。年2回隣り校区お祭り。

F中学校：歓送迎会中止。資源回収。環境整備。昨年70周年。10月バザー。

G中学校：グラウンド整備。9月に合唱。10月バザー。11月先生の研究発表会。今年7周年(ポロシャツのロゴマーク、スローガンを生徒会が考え、今は連帯感がある。

H中学校：3月、2小 → 1中となるため、名札を使った交流と顔合わせを行う(すんなりと溶け込めるように)。

### ○役員候補の選定について

- ・地区で持ち回り(1年)。副会長が7名のところもある。コミ協等のあて職、育成協などの活動、防災、その負担が大きい。

### ○70周年事業について

- ・記念Tシャツ。男女での役割分担、昼間出られないなど、仕事との関連。
- ・PTA年間マニュアルを作成する。
- ・コーディネーターさんの人選手伝い。
- ・総体の派遣、バス代、会費等どうしているのか? → 教育委員会より助成減っている。
- ・白南中では、PTA後援会を使って運用している(会員は地域住民)。

○スマホ(SNS)と親とのルール、学校ルール／家庭ルール。

- ・22時までと決めている。携帯所持を基本的に認めない。iPadは授業に取り組んでいるが、80台用意したが、壊れてしまうので、今年度から個人負担とし、SNSに使えるアプリは使用しないこととする。

- ・ラインがいじめの温床となっている。講師を呼んで講演会を開くが、子どもには分かっている話で、響かない。

- ・生徒がルールを決める。親の知識不足。大人の注意喚起。

- ・持たせないことの弊害、使えないことの弊害もあり、仲間に入れてもらえないなど。

- ・大人向けの講習会。

- ・携帯、高校生になったら労働との引き換え。

## 正副会長部会（中学校 B グループ）

司会：玉 木 景 子（山の下中学校）

記録：佐 藤 一 美（山湯中学校）

参加人数：9 名

---

A中学校：スローガン、「人と交わる・つながる・協力する」をもとに活動する。りゅーとぴあで合唱、昨年は 52 名の大人が参加した。後援会組織の発足に向けて力を入れている。

B中学校：7 月 28 日、29 日に部活の生徒にかき氷を振る舞っている。生徒が増えているので、PTA の役員をどうするか、考え直す。役員選出の見直し。

C中学校：「PTA 会員じゃない」と言う人がいる。ネットで書き込む人がいる。内野三川（さんせん）リバーサイドウォーク 25 km、町中を歩く。

D中学校：PTA もバスに乗って見回る。役員をしない人が半分くらいいる。

E中学校：会長、副会長、事務局。東山フェスティバル、小中 PTA 主催のお祭り。三世代交流運動会がある。

F中学校：70 周年記念式典。記念品を作らないで、教育活動に力を入れる。生徒主催にする。

G中学校：PTA パトロールに力を入れている。

H中学校：9 月 30 日、東区 P 幹事校。10 月 28 日、諸声祭に PTA、教職員も歌う。

I 中学校：蒲原祭りパトロール。地域との関わり(寄せ植え講習会)。防災訓練。

## 正副会長部会（中学校 C グループ）

司会：桑 原 弘 光（白新中学校）

記録：横 山 聖 娘（濁川中学校）

参加人数：8 名

---

### ★他校の良いところをまねる！話を最後まで聴く！

- 自己紹介

- 情報交換会 各学校の活動や課題を発表

生徒数が少ないことによる課題 → 活気がない。地域、PTA が関わる行事が少ない。

// 多いことによる課題 → 役員選出の苦勞(立候補、くじ引き、推薦…)。

三役をやることのメリット → 他校の方と交流する機会がある。

スマホの使い方について → 学校での講演に人が集まらない。地域で主催。

- 役員各部の交流はあるが、他の部との交流がないがどうしているか？

→ 職員歓送迎会、慰労会等。

- 70 周年行事の取り組みについて → 記念品、ドローンでの記念撮影、ロゴを作る。

- 地域との関わり、地域のお祭りに参加。

## 正副会長部会（中学校 D グループ）

司会：伊 藤 和 枝（南浜中学校）

記録：伊 藤 恵 子（濁川中学校）

参加人数：9 名

---

A 中学校：全校 100 人程度。5 月駅伝大会、コースの見守りを三役、役員で行う。文化祭、体育祭は PTA も関わらないと寂しい。

B 中学校：5 月地域貢献活動、全校生徒がグループ毎に自治会で活動、話し合いを行う。10 月地域大運動会の手伝い。PTA 合唱。

C 中学校：役員選出が難しい。対策として小学校役員と交流会を行う。地域行事、東山の下フェスティバル、交流運動会等に協力している。

D 中学校：諸声祭(合唱コンクール)には、先生、PTA、OB が参加する。学校の先生が指導と伴奏を行う。

E 中学校：内野三川リバーサイドウォーク、PTA がチェックポイント、バス運行を支援。西内野祭りに出店。内野祭りの民謡流しに参加。もちつき大会の手伝い。

F 中学校：役員決めは、くじ。全校 600 人の為、PTA 活動は活発ではない。今年 70 周年だが、式典はなし。リーフレットを作成。亀田祭りは生徒も踊りに参加する。

G 中学校：1 小 1 中なので、高校ギャップ対策として、地域の行事の凧合戦、クリーン作戦等に参加。今年は、小学校の文化祭と中学校の合唱を共催で行う。

H 中学校：完歩大会に三役が手伝い。中学校の PTA は、学校に任せすぎ。何の為の PTA 活動か、意識改革が必要。

I 中学校：全校 850 人。2 小が一緒になるが、今年の三役は 5 人对 1 人、改革が必要。完歩大会の手伝い、PTA 地域の方のボランティア、周辺小中 PTA スポーツ大会。

- PTA 活動は地域活動

保護者は学校任せ、役員任せではなく、一人一人が 365 日のうち 1 日でも学校に行くべきではないか。

- スマホを市の条例で禁止しては

条例は市では作れないので、PTA 連合で。子どもの事を言う前に、親の使い方も問題ではないのか。

## 学年部会（小学校低学年グループ）

司会：熊 倉 実奈子（臼井小学校）  
記録：神 田 美 樹（太夫浜小学校）  
参加人数：12名

---

### ◎各学校の活動、学年行事を発表

- A小学校：芝が入り、全校児童が楽しく遊んでいる。
- B小学校：毎月15日に挨拶運動に立つ。
- C小学校：給食試食会の準備に日数がかかり、困難を感じる。
- D小学校：地域のマジックショー団体から、毎年ショーをしてもらう。予算が余る。
- E小学校：サイエンスショーを毎年行う。
- F小学校：先生と連絡を取り合い、ミニ運動会を開催。
- G小学校：各学年1クラス。
- C小学校：「給食試食会」で計画文書起案から印刷、配布、回収等、日数がかかり、困難さを感じる。総会(5月中)で承認を得てから動き出す。
  
- 給食試食会は、親子一緒が良い。別な教室で食べるのは、子どもの様子を見ることもできず、意味がない。
- 学年行事で学校の先生との連携の取り方について  
→ 先生への依頼、連絡をしっかりと取りあう。

## 学年部会（小学校中学年グループ）

司会：北 村 功（青山小学校）  
記録：片 桐 直 美（太夫浜小学校）  
参加人数：11名

---

### ①活動内容

- A小学校：教職員歓送迎会、地域の方も参加しコミュニケーションを取っている。オーケストラ演奏会。青山フェスティバル。会長は男性のみとなっている。創立記念には、下敷き、冊子作成、ポケットティッシュ。
- B小学校：3年生、今年はアロマスプレー作りを予定。海岸清掃やもちつき大会を実施。グラウンドが芝なので、芝刈りも実施。
- C小学校：PTA行事は年2回。3年生は6月に参観日、交通安全教室、冬にミニ運動会。4年生はエコバック作り、1/2成人式。
- D小学校：運動系、音楽系講師を招いて実施。年度末に茶話会。交通安全教室を関屋自動車学校で実施。
- E小学校：3年前より実行委員会を4回に減らした。デジタル式でやり取りしている。お父さん草刈り → 土曜日に母ではなく、「父が来てください」としている。お父さんの会も開いている。1、3、5学年行事を1つ、2、4、6学年行事を1つ実施している。3年生はうどん作り(エプロンで)。科学実験教室。4年生は講演会。
- F小学校：3年生保護者親睦会、PTA祭り(去年より)、折りたたみ式うちわ作りを予定。グループラインを利用し、連絡を取り合っている。低学年は、パン食い競争、缶バッジ作り。
- G小学校：学年ごとに1つ行事。親子大縄大会、前年の行事を行うようにしている。人数が多いので変更はせず(役員負担減)。ふれあい祭り(町内の方を交えて)。
- H小学校：6月に親睦会、7月に上山祭り(チケットを買って遊ぶ)、10月に記録会、焼き芋会。水曜日・土曜日は昔の遊び会。4年生は1/2成人式、ふれあい運動会。
- I小学校：4年生は1/2成人式、早めに動いて割り振って、ラインでやり取りをしている。運動会前に環境整備(420名参加)、花も植えた。11月ふれあい祭り。
- J小学校：6月交通安全教室、自転車を持ってきて実施(学校主催で、親子、子で自転車を全員持ち込む)。自転車が集まらなかった → 他校では、ビデオ実施のみ。7月陣取りゲーム。



○地域、児童数、環境によってPTAは家庭、地域を通して成り立っている。そのことを含んで活動されている。

○学年委員がほぼやっている流れができている → 作るのは委員長、コピーは他の役員でやる。振れるものは振っている。最初に役割を決めて、話し合いはみんなでしたが、役割を決めるとそこかしなくなってしまう。

○PTA会の開催時間は、14時～、10時～、18:30～など。出席を増やすために、土日の夜がいいのか…。夜子どもたちも連れてきている方もいる。

①PTAの活性化、取り組み

・普段着親睦会、祭り、負担の少ない仕事にする工夫(先生の協力が少ないのではないか)。デジタル化。お手伝い制度 → 企画はPTA、他の事は役員以外(年1回PTAの仕事の手伝い)。職場にも協力を得る。

②スマホ、親、子ども。ノースマホデーを作る。SNSがいじめの原因にもなる?6年生にスマホ教室、インターネット教室を実施。

## 学年部会（小学校高学年グループ）

司会：鈴木 康 範（五十嵐小学校）

記録：斎 藤 敦 子（五十嵐小学校）

参加人数：14名

A小学校：5年生 → 自然教室前に、親子カレー教室(子どもたちは当日スムーズに調理が出来たそうです)。6年生 → 一風堂さんを呼んで、ラーメン、餃子作り(食事を作ってもらう事への感謝を学べた)。

B小学校：5年生 → 持久走に向けてランニング教室。PTA 祭りは今年で3回目、作品展、バザーがないので、子どもたちの為に立ち上げた。6年生 → スマホ教室からアンダーマネジメント授業(怒りのコントロールの仕方)。

C小学校：5年生 → インターネット講座(教育委員会から警察の方になる)。

D小学校：5年生 → セコム防犯安全教室(授業参観)。5年生の役員が、謝恩会の場所決めなどを行う。

E小学校：5年生 → 親子ペルビックヨガ体験(ヨガ+ストレッチ)。6年生 → 謝恩会なしで、各教室でタイムカプセル作成(先生、保護者、友だちからも書いてもらう)。

F小学校：5年生 → 昨年は親子ボウリング大会、今年はキャンドル作り。6年生 → 親子ラウンドワン(実費)。6月は、子ども風合戦に参加。

G小学校：地域の方々と交流(ふれあい祭り)。アレルギーに配慮しつつ。6年生 → 卒業を祝う会。

H小学校：5年生 → ドッジボール大会?柔らかいボールに変更するなど、考え中。

I小学校：他校4校とスポーツ大会。卒業を祝う会は、親子で楽しむ(6年生が歌、ダンスをする)。小さい頃のスライドショー(DVDとしてプレゼント)。

- 謝恩会にこだわらず、親子で楽しむ事も良いのでは…。
- 役員は慣れた方がいると、スムーズに進む。

## 学年部会（中学校グループ）

司会 齋 藤 雄 介（臼井中学校）

記録：伊 藤 智 子（松浜中学校）

参加人数：12名

---

### ○自己紹介

### ○活動計画

A中学校：10月、2月に学年懇談会を実施予定。

B中学校：3年生は7月に高校説明会、PTAが司会で12校の先生方を招き、スライドなどを用いて説明してもらおう。11月に進路説明会、茶話会。2年生は、10月に特別学習相談会、茶話会。11月は親子レク。

C中学校：1年生は、6月に学年総会、ランチ試食会。11月はSNSトラブル講演会。2月は第2回学年総会。

D中学校：3年生は、6月懇談会、7月、11月学年総会、進路説明会。3月に解散式。2年生は5月、11月、2月に学年総会。6月懇親会。1年生は5月学年総会、6月懇親会、11月、2月にも学年総会。

E、F中学校：持ち込み資料を参照。

G中学校：7月にレク。3年生は学校説明会。学年総会、懇親会などはない。自校活動が小規模だと思った。

### ○役員決めの方法について

- ・どの学年で役員をやりたいかの希望を取る。欠員が出た場合の補欠を持った方が良いかも。
- ・過去5年間に1度やれば免除となる。

### ○修学旅行について

- ・沖縄、ディズニー、関西、USJなど。
- ・2年生の終わりに実施する学校もある。

### ○バザーについて

- ・バザーをやっているところは少ない。文化祭がないところもある。作品展示なく、演劇会を行う学校もある。

### ★市P連委員会の動き

- ・PTAに入りたくない → 対応マニュアル小冊子などを作成予定。
- ・スマホ、SNSを使用する子どもの保護者を指導できたら…。

→ 取り組み中

## 文化教養部会（小学校グループ）

司会：酒 井 博 史（中之口西小学校）

記録：角 早 苗（万代長嶺小学校）

参加人数：13名

- 
- ・地域、保護者の作品も展示。集めるのが大変。バザー等あるのに、作品を集め返却。コーディネータールームに展示する。コーディネータールームに飾り、持ち帰る。
  - ・コミュニケーション：骨盤ケアとして、講師には飛田野恵美子氏（メンタルボディケアアドバイザー）。

Q：講師はどうやって探してくる？

A：部長が中心に探す。つてがなければ相談する。部長が決め、市の方へ連絡を取る。  
講師料 7,600 円。

- ・花育食育センターへ連絡。マイスター制度を利用すると安い。県生涯推進センター。

Q：PTA 会費は？

- ・PTA 会費は 700 円／月など。

Q：講演会の予算は？

- ・5万円～8万円。2万円＋お茶、お菓子。
- ・ワークショップ、ピラティス、親子クッキング、和太鼓…。

その他

- ・学習発表会の後のバザー、体育館の準備が大変。  
→ 学生にお願いしてみても？体育館に前日テーブルを用意する。
- ・食券は前売りのみ。当日券あるが、数が読めない。
- ・バザーはやっていない。
- ・お父さんと福祉大のボランティア。
- ・焼きそば、玉こん、チュロス、コーヒー、フランクフルトなど。
- ・体操着を安く販売、交換。段ボール箱の中に体操着を入れ、廊下に置き、貯金箱にお金を入れてもらう。

## 文化教養部会（中学校部）

司会：桑 原 久 満（巻東中学校）

記録：今 村 祐 子（大江山中学校）

参加人数：5名

---

- 年2回。講演会（著名人）。
- 年2回。6月末、教育委員会、校長先生の講演会。
- 70周年記念。東京から講師を呼んで講演会。
- 諸橋弥次郎農園(江南区茗荷谷)、いちご狩り。
- 年2回講演。7月は青陵大学教授の「碓氷真史先生」の講演会。
- 文化祭での作品展示。
  - 陶芸教室、ブリザーブドフラワー教室など。

### <問題点>

- 参加人数があまりいない。
- 学校に駐車場がない。

## 広報部会（小学校グループ）

司会：長谷川 雅 朗（葛塚小学校）  
記録：七 尾 彩 子（太夫浜小学校）  
参加人数：11 名

### ①自己紹介

### ②情報交換

A小学校：広報紙を年2回発行。ラジオ体操の準備、etc。

B小学校：文化祭のポスター作り。広報紙は年2回発行。予算はトータルで7万円。

C小学校：広報紙は年2回発行。今年は100号目。前後半4名ずつ、計9人で活動。カメラがないので、スマホなどで撮影する。予算はトータル6万円。

D小学校：広報紙は年2回発行。6月発行なので、4月から動かないと間に合わない。16人が前期、後期で分かれてやる。全ての写真撮影を担当。「PTAまつり」があり、ブースを出す。文化祭はない。

E小学校：6月に、広報紙第1号発行（職員紹介）。年4回発行。2号はカラー刷り、ふれあい祭り。3号は、学年行事。写真撮影については、全児童に対して許可を得て、ダメな人は外す。110周年記念式典があるので、記念誌を作る企画がある。

F小学校：3月(8ページ)、7月(6ページ)の2回発行。以前は3回だった。10名で行っている。PTAのカメラはない。LINEでスマホ撮影した写真を共有して、校正やチェックを行う(以前は、夜集まっていたが、大変なので変えた)。写真撮影は、他の専門部員や三役も協力してくれる。

G小学校：45周年。年2回発行。7月は地区にも配布している。レイアウトはページ毎に分担し、去年とかぶらないようなレイアウトにする。先生は基本ノータッチで、最終チェックのみ。地域に広報紙を手配りしている。

H小学校：広報委員は6人。おとなこどもサポート部。こどもサポート部の3部のみ存在している。年3回広報紙発行。全世帯(子どもがいるいないに関わらず)に広報紙を1部ずつ配布しなければならないのが大変。郵送はお金がかかるので、手配りしている。

※ 葛塚東小は、北区役所の配布物担当所(地域課)に依頼しているとのこと。

I小学校：夏休み前、冬休み前、春休み前の3回発行。取材は手分けして行う。写真撮影、原稿の記入例などの「取材セット」がある。子どもを通じて、部長、副部長へ原稿を渡し、校正をする。4月に1度集まって、その際にすべての仕事の割り振りを行い、あとはLINEやメールでのやり取りをしている。なるべく集まりが無いように配慮している。

J小学校：年4回発行している。公民館で集まり、各1回ずつリーダーを決めているので、負担は少ない。

K小学校：7月、12月、3月の年3回発行している。

③質問

○他校の広報部の予算はいくらくらいか？

○広報紙のチェックのやり方は・

- ・校長、教頭もチェックする。
- ・顧問、教頭の2回校正できっちり赤入れる。
- ・校長、教頭、他教員が見たら全員捺印することになっている。
- ・最大で3回校正まで、というきまりになっている。
- ・広報部員全員、顧問の先生で終了。
- ・部員、顧問の先生を通じて、上の先生に見せる。先生紹介のところは、先生本人が見ないで、上の人に任せている。
- ・部長、副部長を中心に、他部員も見る。
- ・部員全員でレイアウトと校正を行う。
- ・顧問の先生と部長、副部長で行う。
- ・顧問の先生が中心になって行う。

○あがってきた原稿が変だったら直す？

④アンケート記入後閉会。

## 広報部会（中学校部）

司会：脇 屋 淳 子（東石山中学校）

記録：藤 澤 望（大江山中学校）

参加人数：4名

---

### 1. 自己紹介

### 2. 各学校の広報の紹介、情報交換等。

A中学校：年3回発行(カラー1、白黒×2)。今年は70周年記念。1回目修学旅行。

B中学校：年3回発行(フルカラー×3)。1回目修学旅行、2回目体育祭、3回目文化祭。

C中学校：年3回発行(フルカラー×3)。予算15万円。子どもが少ないので、写真が良く見られる点がいい。

### 3. 市P連からの質問についての意見交換

- 環境、スマホの使い方、三行詩についての情報発信を！！ → 広報で。



## 健全育成部会（小学校グループ）

司会：星 野 寛 子（小林小学校）

記録：金 子 千花子（上山小学校）

参加人数：13名

---

### 1. 自己紹介(計 13名)

#### 2. 資料を基に意見、情報交換

A小学校：交通安全とベルマーク、ストップマークの塗り直し(通学路の危険個所に貼る)。

→ 交通安全協会から借りる。スプレーとシールをどこにしたか、チェックして報告。

B小学校：毎月10日に街頭指導。8月の夏休みに巡回(20人の部員で分担して、日誌に記入)、9月に希望者を集めて、ドッジボール大会。10月に文化祭バザー、9月に育成部が主導で交通安全。

C小学校：毎月決められた日に部員が分担して(2人チームで決められた場所)、登下校の交通安全指導を行う。土曜日にふれあいスクールのボランティアを行っている。

D小学校：春と秋の薬師神社祭りの生活補導。登校時の見守り、夏休み(3日に1回の割合で見回り)。関屋自動車学校で、スタントマンが自転車事故の実演。

E小学校：育成補導部会(年3回)、自治会の方々と交通安全についての意見交換。10月地域クリーン作戦。夏休みの校区内巡視(DeKKYのゲームセンター、公園)。

F小学校：春に植栽(部員17名、毎日順番で水やり、月1で草むしり)、ベルマーク収集(学校の備品の購入)、蒲原祭りの巡視(15~18時1時間毎に3名ずつ)。

G小学校：安心安全見守り隊を募り、自転車にプレートを付けて巡視、蒲原祭りの巡視、夏休みのながら巡視(アンケートにより回答を集計)、秋に交通安全指導。10月にPTA行事のもちつき大会を、主体となって行う。予算は健全育成。

H小学校：登下校の見守り隊を春に結成する。10月に親子スケート教室(昨年) → 弓削田健介氏のコンサート(今年予定)、地域の方も参加できるように。プールの巡視、AEDの講習。

I小学校：町内パトロール → 報告は育成だより(年4回)で危険個所をお知らせする。文化祭のチャリティバザーのお手伝い。

J小学校：年3回校区内パトロール、報告書をまとめて各団体との情報交換に役立てる。ふれあいスクール(どんぐりランド)の見守りボランティア。地域のボランティア(高齢者の方など)から、昔の遊びを教わる。各会議等への出席(交通推進集会)。

### 3. テーマ『スマホと子どもと親がどのように向き合うか』

- ・ルールを決めて、うまくメディアと付き合っていく。
- ・家庭の中で、ルールを決める。

- ・講師にお願いして、講演してもらおう。
  - ・北区は周りでスマホを持っている子は、あまり聞かない。
- 

B小学校：授業参観で、スマホの話をした。LINE をしている子もいる。

E小学校：携帯について、お便りがあったくらい。基本、学校に持って来ない。

G小学校：携帯を持ってくるには、届け出が必要(教務室に預ける)。

I小学校：メディア0(ゼロ)週間というお便りが、昨年あった。スマホについての指導は特になし。

D小学校：携帯電話の講習会を行った。DSでのいじめがあったという話を聞いた。

C小学校：携帯は届け出制。

F小学校：TVを見た時間を知らせる週間があった。スマホの話をする会が、6年生になるとあった。

H小学校：年2回ノーメディアDAYが1週間ある。1日でもメディアを見ない日を作る。昨年は、スマホについての講演会を行った。キッズ携帯を持たせる。DSでチャットをしていた。

---

H小学校：育成部自体ない。来年度から南区地域の中学校で、まとまって活動していくことになった。他の小学校は、地域で中学校と分かれて活動している？地域コーディネーターさんがまとめ役をしている？

C小学校：子どもたちの遊ぶところがない。ボール遊びができない。ブレイブボードが危ないと苦情が来る。大人の交通マナーが悪い。

G小学校：マンション地下で、バスケットなどで遊べる。ゲームセンターは禁止。

F小学校：外で遊ぶ所が少なく、体力が低下している。マンションのエントランスでゲーム(DS)をしている。

H小学校：地域とのつながりが強い(自治会)。

E小学校：巡回中に注意は直接せず、報告書に書く。

## 健全育成部会（中学校部）

司会：南 雲 貴 広（坂井輪中学校）

記録：高 橋 久美子（松浜中学校）

参加人数：5名

---

- 自己紹介
- 各中学校のPTA活動実績と反省
  - 地域との連携はどうか。
- 新潟市P連から
  - PTA役員決めの方法など、PTAの活性化を考える。
- 環境対策委員会から
  - 携帯電話の使い方、持っているか？

## 保健体育部会（小学校部・中学校部）

司会：松 澤 浩一郎（湯東小学校）

記録：坂 口 真奈美（東中野山小学校）

参加人数：9名

---

### ○自己紹介

### ○各学校の活動内容

A小学校：児童数 84 名。保健環境部。グラウンドの整備、夏休み AED 講習、プール監視（必ず 1 名参加）、バザー。来年以降、児童数少なくなるので、他の委員会と合同になるかもしれない。

B小学校：グラウンド整備（春、秋の 2 回）、運動会（石山節 PTA）、プール監視員 AED、バザー講習会、バザー、小学校 4 校スポーツ。

C小学校：生徒数増加。5 月運動会 PTA、ラジオ体操講習会（講師）、11 月 6 校（上山中と鳥屋野中区域）運動会。

D小学校：5 月草取り、運動会（PTA 大玉送り、ジャンケンジェンカ）。9 月マラソン大会。11 月ヨガ教室の開催。

E中学校：運動会、PTA 行事、バレーボール大会。

F中学校：生徒数 150 名。運動会、PTA 行事。

### ☆PTA 会費

- ・各学校によって違う。近々にアンケート。子どもの人数にもよる。

### ☆PTA 会長の任期

- ・3～4 年 ・2 年位 ・1 年

### □役員を選出方法は？

- ・ジャンケン、くじ引き等。何も分からずに、本日参加するような状態。初めてで何をしたらいいのか…。

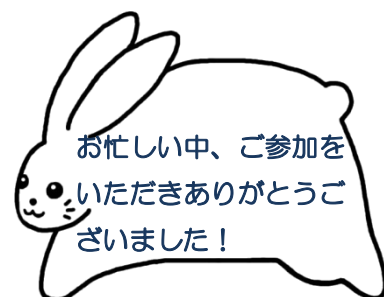
□市の PTA で保健環境部の役割ハンドブック等作成予定。どんなことをすればいいのかなど…その為に意見交換会があったりする。

□11 月にヨガ教室：先生と保護者、子どもの参加。昨年より始めたが、楽しんで参加している様子。

□4 校スポーツ大会：南中野山小、東中野山小、中野山小、江南小の 4 校で運動会を行う。本年度主催校なので、大変ではあるが、みんなが頑張っている。熱い！

- ラジオ体操講演会：おじいちゃん、子ども、保護者の参加でジュースを配布。講師が教えに来てくれて準備、おたより等する。お祭りがあるが、やりたい人がやる。保健環境部としては、ラジオ体操のみ。草刈り等もない。PTA 役員との温度差は感じる時あり。
- バレーボール大会：参加者を募って開催。大人の大会、小学校の時もソフトボール大会等あった。参加賞がとても良い。参加者多い。
- プール開放について：実際、事故があった時の対応。責任の所在。プール検討委員会を発足。アンケートを実施、開放廃止 60%、開放継続 40%だった。救命救急講習を受けた親子の参加等、条件を厳しくして、それでも参加したい人が参加する希望制にした。自分の子どもを自分が守る。7回予定しているが、保護者が5人揃わないと開催できない。事故があった場合、300万円の補償しかない。有事を考えると、簡単な問題ではない。
- お知らせ(役員会)方法が子どもを通して：メール等の方法を取るようにした。役員は立候補でやる。来ないということはない。
- 役員になったら、顔見知りができたり、先生の話が聞けたりする良い機会だと思う。
- 部長さんに指示してもらい、動いている。知らないことも多い中、活動している。男性(お父さん)も役員として参加している。
- 経験者がいると、スムーズに部も回るのでとても良い。
- 運動会、大玉送り、毎年同じなので、何かないか…。
  - PTA 主催、赤白関係なく参加、景品を渡す。保護者参加は+5点。
- 役員 PTA 活動自体を軽減していく方向でいるが、児童数が少なくなると仕方ない。
- PTA の選出方法、責任を持って活動に参加する！

平成 29 年度 「PTA 役員研修会」  
参加者人数報告



部 会 名		当日参加数	参加申込数	
正副会長部会 (106)	小学校 (71)	A	12	11
		B	12	12
		C	12	12
		D	12	12
		E	12	12
		F	11	12
	中学校 (35)	A	9	9
		B	9	9
		C	8	9
		D	9	10
学年部会 (小学校) (37)	小学校 (低学年)		12	12
	小学校 (中学年)		11	11
	小学校 (高学年)		14	14
学年部会(中学校)(12)	中学校		12	13
文化教養部会 (18)	小学校 A		13	12
	中学校		5	6
広報部会 (15)	小学校		11	12
	中学校		4	5
健全育成部会 (18)	小学校		13	13
	中学校		5	7
保健体育部会 (9)	小学校・中学校		9	9
参加者総数			215 名	222 名



※ ご提出いただきました、記録の内容等に誤りがありましたら、訂正させていただきますので、市 P 連までお知らせください。

fax : 025-242-0178

Mail : niigatashipta@vanilla.ocn.ne.jp